

会 議 録 (要旨)

会議名	田川市新中学校のあり方に関する審議会 第5回会議
開催日時	平成27年2月19日(木) 10時～12時00分
開催場所	田川市民会館 講堂
出席者	(委員) 神谷委員、四戸委員、大宅委員、二場委員、兒島委員、中山委員 穂山委員、浦野委員、加治委員、森委員、財津委員 (事務局) 尾垣教育長、犬丸教育部長、小林学校教育課長、大峯教育総務課長 山本生涯学習課長、大久保学校教育課主任

審議事項	審議内容
会議傍聴の ルール確認	<p>【委員の質問・意見】</p> <p>① 一般市民から会議の傍聴に関して事務局に数件の問い合わせが寄せられている。会議は原則公開とすることを申し合わせていたが、今後、実際に傍聴者が現れた際の対応を明確にしておきたい。以下の点について、ルールを決めておきたい。</p> <p>(1) 傍聴者に審議資料を配付するか否か。 (2) 機密性が高い内容を審議する際に非公開とする場合、その決定方法と決定時期</p> <p>【決定事項】</p> <p>(1) 資料は傍聴者に原則配付する。ただし、会議終了後、その場で回収する。 (2) 会議終了時に、次回会議の日程と内容を決定する場合は、その場で公開・非公開を委員の合議で決定する。次回会議の日程と内容を決めない場合は、日程と内容が決定した時点で、会長が次回会議の公開・非公開を決定する。</p>
中間答申のスケ ジュール	<p>【委員の質問・意見】</p> <p>① 中間答申を行うにあたり、市議会への報告、アンケート結果の公表、マスコミ発表をどのような流れで行うかを決めたい。事務局の案を聞きたい。</p> <p>【事務局の回答・意見】</p> <p>① 3月9日に市議会総務文教委員会が開かれる。この日の午前中に答申を頂ければ、同日に議会報告が行える。マスコミへの発表も同日に行いたい。仮に今から中間答申までの期間が約2週間だとすれば、アンケート結果を答申より先行して公表してもあまり大きな違いはないので、中間答申と同日の公表がよいのではないかと考える。</p> <p>【決定事項】</p> <p>① 3月9日に中間答申を行う。マスコミ発表、アンケート結果の公表も同日に行う。</p>

審議事項	審議内容
<p>中間答申（案） について</p>	<p>【委員の質問・意見】</p> <p>～ 「はじめに」に関する意見 ～</p> <p>① 平成18年答申の中期構想である「田川中学校と中央中学校の統合」と長期構想である「田川市郡合併を考慮した校区再編及び統合の検討」が実現しなかったことについて記述しているが、実現しなかった理由を書いたほうがよいのではないか。</p> <p>② 実現しなかった構想は、現在完全に白紙化されており、我々が審議会で議論している内容とは関係のないものである。白紙化されたものが、まだ構想として残っていると誤解されてはいけないので、具体的なことは書かず、構想の一部が実現しなかったことだけを書けばよい。</p> <p>③ 今議論していない過去の計画について記述するよりも、審議会が、国が進める教育改革を見据えた新たな議論を行っているということを書き入れるほうがよい。</p> <p>～ 「現状に対する認識と議論の視点」に関する意見 ～</p> <p>④ 小規模校に教育的課題があることについて、また、再編により教職員数が増えれば指導体制が強化されることについて、議論の余地がないような表現をしているが、断言するような表現はさけたほうがよい。</p> <p>⑤ 「教育環境のあり方に経費削減を理由とした議論は求められていない」という表現があるが、この考えは一般論ではなく、我々審議会の議論の視点であるため、そのことが分かるよう表現を改めたほうがよい。</p> <p>～ 「市民意識（アンケートに関する分析）」に関する意見 ～</p> <p>⑥ 「結果的に、市民からまず何を優先すべきかが示されたことが大きな成果であった」という表現があるが、アンケート結果をそのまま答申に反映すると読み違えられかねない。「市民の潜在的ニーズを把握できたことが大きな成果であった」という表現に改めたほうがよい。</p> <p>⑦ 小規模校の状況に関する記述で、「常時平穏な学校運営がなされていれば機能するが」という表現があるが、「常時機能していない」というニュアンスにすべきではないか。生徒が問題行動を繰り返したり、先生が病欠になったりするのは、学校の「常時」の出来事としてとらえるべきである。</p> <p>～ 「市教委の合意形成に対する具申」に関する意見 ～</p> <p>⑧ 見出しの「市教委の合意形成に対する具申」は少しわかりづらいので、「新中学校設立に向けた合意形成に対する具申」に変えたほうがよい。</p> <p>⑨ この答申は教育委員会に出すものではあるが、自治体の教育行政の責任を全て教育委員会に負わせるような提言ではなく、住民の主体的取り組みも必要であるという内容を盛り込んではどうか。</p> <p>⑩ 学校づくりがまちづくりの一環である点をもう少し強調してもよいかもしれない。</p> <p>～ 「まとめ」に関する意見 ～</p> <p>⑪ 審議会が最終答申を出す時期について記述がない。審議の時間的見通しはたてるべきである。</p>

審議事項	審議内容
	<p>⑫ 最終答申を出す期限は27年度中とし、その文言を書き入れるべきである。</p> <p>⑬ 目指すべき学校数については、中間答申に書き入れなくてよいのか。</p> <p>⑭ 教育委員会が策定している校区再編基本方針には、目指すべき学校数が記述されているが、基本方針自体が多くの市民に伝わっていないのが現状である。今後の住民説明会で、まずはそこから情報提供を始めていかなければならない。従って中間答申には、目指すべき学校数について書き入れるべきではない。</p> <p>【決定事項】</p> <p>① 3月2日に中間答申（案）について修正点を最終確認し、内容を確定する。</p>
アンケート結果の公表について	<p>【委員の質問・意見】</p> <p>① 選択回答式で得た量的データは、全部公表することが望ましい。</p> <p>② 量的データは分量が多いので、一般市民向けにA3版1枚程度の概要版を作成したほうがよい。</p> <p>③ 自由記述式の意見は、多かった意見を集約して、箇条書きにしたものを傾向別に整理して、公表すればよいのではないか。</p> <p>④ 中間答申でアンケート結果に対する審議会の見解を述べているが、アンケートの概要版にも、掲載する結果に関して審議会の見解を載せるべきである。</p> <p>⑤ アンケート結果の概要版を、アンケートを配布した保護者に学校を通じて配るかどうかもある必要がある。公表の方法を次回の会議で決めたい。</p>